

◆アメリカのオバマ大統領が広島を訪問し、声明を発表しました。



原爆死没者慰霊碑に献花し、声明を発表するオバマ米大統領(27日午後5時49分、広島市中区の平和記念公園で)＝野本裕人撮影

「核兵器なき世界へ」

オバマ米大統領 広島訪問

被爆者2人と対話

原爆71年 現職で初

オバマ米大統領は27日、現職米大統領として初めて、米軍が1945年8月6日に原爆を投下した広島を訪問した。オバマ氏は安倍首相とともに平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に献花した後、声明を発表し、亡くなった被爆者を追悼する中で、「核兵器のない世界」を将来にわたって追求していく必要性を世界に訴えた。被爆者とも直接対話した。日米関係は、原爆投下から71年を経て、和解を象徴する大きな歴史の節目を刻んだ。

オバマ氏は声明で、「新たな苦しみを経験し、歴史を直視し、再び起きないよう、自問する責任を共有して、友情を深めてきた」とも語った。

自ら掲げる「核兵器のない世界」については「私が生きている間には実現しないかもしれないが、勇気を持って追求しなければならぬ」と呼び掛けたうえで、「過去から学び、戦争が起らない世界を作っていくことができる。広島、長崎を道義的な目標とするべきだ」と訴えた。

また、日米関係に関しては「破壊的な日以來、日米は問題を強化するだけでなく、友情を深めてきた」と述べ、第2次世界大戦の歴史を乗り越え、アジア・世界の平和と安定に大きく貢献する同盟になった意義を強調した。

声明を発表した後、オバマ氏は、被爆者である日本原水爆被害者団体協議会(被団協)の坪井直代表委員(91)と、歴史研究家の森重昭さん(79)のもとに歩み寄り、話に耳を傾け、言葉を交わした。広島平和記念資料館や原爆ドームも視察し、平和記念公園には約50分滞在した。

米国では、原爆投下は終戦を告げ、結果的に多くの人命が失われずに済んだ、と正当化する声が強まっている。オバマ氏はこうした世論に配慮し、声明では謝罪せず、献花の際も黙とうはしたが、頭は下げなかった。

(2016年5月28日 読売新聞朝刊より)

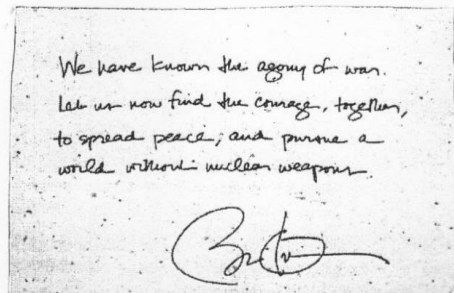
【1】記事を参考に、大統領の声明の内容を項目ごとにまとめましょう。

来た理由	
「核兵器のない世界」	
日米関係	

【2】最後の段落を読んで、米国、日本、被爆者の立場を想像しながら、感じたこと、考えたことを書きましょう。

カラ

《オバマ大統領が広島平和記念館に残したメッセージ》



We have known the agony of war.
Let us now find the courage, together,
to spread peace, and pursue a world without
nuclear weapons.

Q: どんなメッセージだろう? ↓ ↓ ↓ 訳してみよう!

A large empty rectangular box for writing the translation of the message.

私たちは戦争の苦しみを経験しました。
共に平和を広め、核兵器のない世界を追求する勇気を持ちましょう！